

岩

IWANAI

内

海から生まれ、
海とともに
育ってきたまち

岩内町町勢要覧



岩内町長 木村 清彦

岩内町は、北海道の西海岸にある積丹半島西側の付け根に位置し、日本海と南はニセコ連峰を望む、四季折々の豊かな自然に恵まれた町です。

また、古くはニシン漁による港町として栄え、岩内町大火（昭和29年）など幾多の困難を乗り越え築き上げた全道有数の歴史を持つ町であり、その歴史を語る「岩内町郷土館」、東京以北最大の「阿弥陀如来大仏像」（帰厚院）、近代的な美術館（木田金次郎美術館・荒井記念美術館）、後志管内随一の規模を誇る「岩内地方文化センター」を有し、文学、美術と文化的な施設が充実しているところも町の魅力です。

現在、私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少による消費の縮小や町内経済の停滞、地域コミュニティの衰退など幅広い分野に影響が及んでおります。このことから、持続可能で活力ある地域社会をつくるため、地方創生という大きな課題に立ち向かわなければなりません。

厳しい経済情勢ではありますが、次の時代を担う子どもたちのためにも、町の活性化につながる事業の展開を図ってまいりたいと考えております。

この要覧から、岩内町のようすを知っていただき、今後とも一層のお力添えをいただければ幸いに存じます。



位置地勢

岩内町は、北海道の西部、積丹半島の付け根に位置し、北は日本海に面し、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されており、南にはニセコ連峰岩内岳を望む、面積70.60㎡の町です。



人口世帯気候

13,187人（男6,209人／女6,978人）

6,998世帯 ※平成28年11月末現在

平成27年の年間平均気温が9.7℃、最高気温が30.1℃、最低気温が-9.7℃となっており、日本海沿岸部としては概ね温暖です。

年間雨量は680mmとさほど多くはないものの、冬期には北西からの強い季節風が吹きます。



目次 01 町長挨拶・位置地勢・人口・世帯・気候

03 漁業

05 食品製造業・農業

07 企業誘致・製造業



09 観光

11 海洋深層水

13 生活環境

15 保健・医療・福祉



17 教育・文化

19 歴史

21 議会

22 ふるさと納税・町章



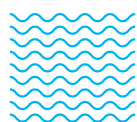


漁業



海の恵みを捕る・育てる

かつて、にしん漁によって栄えたこのまちは、
今も「海の恵み」を大切にしています。
この先も「海の恵み」を受け取れるよう、
水産資源の維持や増大に向けた
各種の事業を支援していきます。



にしん種苗放流 にしん資源の復活は、漁業振興のみならず、観光・食品産業など多方面へ活力を与えます。
岩内町は、にしん資源の復活を目指して組織された後志南部地域ニシン資源対策協議会の事務局として、にしん稚魚の放流や調査を実施しています。



さけ

町内で捕れるさけのほぼ全てが人工ふ化放流魚です。親魚を捕獲し、ふ化場で雌の卵に雄の精子を受精させます。やがて、ふ化した稚魚は、日本海からオホーツク海へ旅立ち、成長した後、野束川へ帰ってきます。



初競り



なまこ種苗生産試験

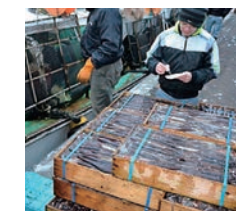
海洋深層水活用の可能性を探るとともに、なまこ資源の増大を要望する漁業者の声に応えるため、平成27年から、なまこ種苗の生産試験を実施しています。



すけとうだら



なまこ



いか



岩内町漁獲量ベスト3(平成27年度)



第1位 **いか**



第2位 **さけ**



第3位 **ほっけ**



★将来像

安定的な漁業生産及び漁業所得の向上による地域の活性化と雇用創出を図ります。



農業 食品製造業

素材の良さが自慢

伝統の食を守り続けるとともに、
消費者ニーズに対応した新たな商品の開発、
販路拡大などに取り組んでいます。



たらこ はえなわ
延縄漁法により、釣り針をつけた枝縄を一定の間隔に吊り下げ、一尾一尾（一匹一匹）丁寧に釣りあげます。そのため、魚体が傷まず鮮度が保持されます。
その新鮮なすけとうだから取り出された卵は、その日のうちに加工され、鮮度抜群の甘口で粒子がしっかりしている最高級のたらこができます。



みがきにしん、塩数の子

伝統ある加工技術を施し、極上品として主に本州などへ流通されます。



佃煮

しらすの佃煮をはじめ、岩内海洋深層水で炊きあげたピリ辛風味の昆布や、帆立の貝柱、ダルス佃煮、昆布巻きなどの水産加工品の生産・販売をしています。



たつかま（たちかま）

新鮮なすけとうだらの子からつくられる名物のひとつ。
もっちり、プルンとした食感と磯の香りが特徴。冬季限定の特産品です。



パン

福祉施設の経営で、北海道産小麦と岩内海洋深層水を融合させ、小麦本来の甘さが活かしたしっとり柔らかな食感のパンを製造しています。



農業

冷涼な気候と水はけの良い土壌という水稻の栽培に適した環境により、食味の良い水稻を生産する稲作が主体となっています。また、稲作と併せて南瓜・アスパラガスなどの畑作を行う「水稻畑作複合経営」や、町内でつくられた自給飼料によって育てる酪農との「水稻酪農複合経営」が行われています。



★将来像

水産加工場の衛生管理の強化や伝統に培われた技術と消費者ニーズに合わせた加工品作りを実施し岩内ブランドの推進を図ります。





企業誘致 製造業



企業立地の推進や支援

岩内町では、地域資源である海洋深層水や電源地域及び

町独自の助成制度について広くPRしながら、

企業立地や雇用の確保・拡大が図られるよう取り組んでいます。

また、進出企業や地元企業に対して、相談や要望への対応、

企業間の交流支援を行い、企業の発展が図られるよう努めています。



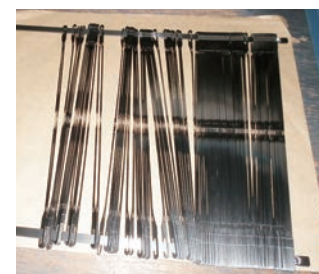
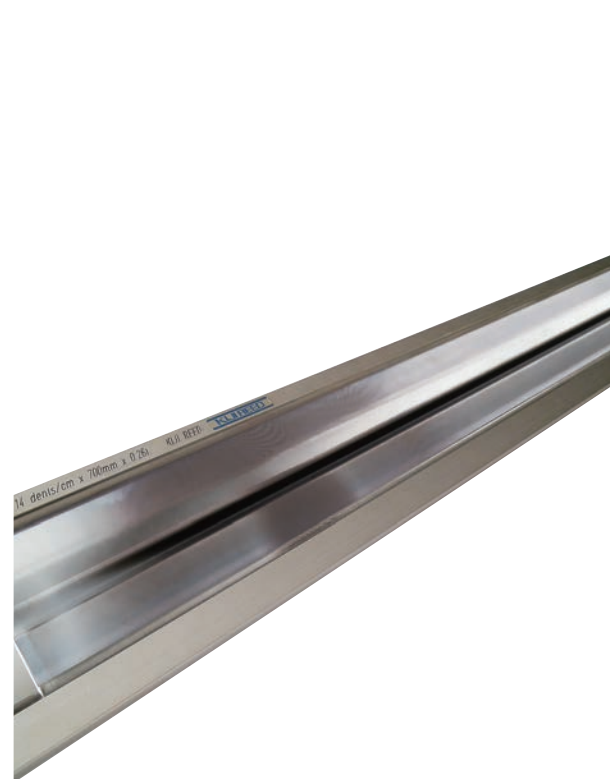
明和工業株式会社 岩内工場

水やガスを安定的に送るための水管橋・パイプの設計、生産、施工またエアバルブの製造、水道本管の仮設工事に必要となる仮設配管レンタルサービスを行っています。平成27年より太陽光発電（メガソーラー）の運営を開始しました。



三菱日立パワーシステムズ株式会社
高砂工場岩内支店

北海道の拠点工場として電子部品実装装置や各種計測試験設備を備えたハイクエ電子機械・機器により、品質や信頼性の要求度の高い原動機（タービン・ボイラ）や外販製品などのプリント基板を製作しています。



株式会社 木地リード 岩内工場

フラットヘルドという織機の動きに合わせ糸の動きを調整する部品とデンツという織機部品のリード（糸をたたいて揃えるもの）の一部を開発・設計・製造しており、織機部品分野では世界シェア5割を超す製品に成長しています。



日本アスパラガス株式会社

岩内工場で製造されている「岩内岳の天然水」は、岩内海洋深層水の高ミネラル水を加えたもので、平成22年に清涼飲料水では国内初、道内企業製品で認証第1号となるCO₂排出量表示品としてCO₂排出削減の取り組みに力を入れています。同工場で生産される各飲料水は、ニセコ連峰の天然水を原料水として使用しており、缶入り飲料の製造には、飲料缶の高熱殺菌時に生じる排水の熱を再利用し、北海道省エネルギー促進大賞にも選ばれています。

平成28年より食品加工工場を新設。新たな展開として野菜加工事業を立ち上げ、加工食品の原料となる玉葱や南瓜など乾燥野菜の製造を行っています。



★将来像

海洋深層水など地域資源を活用した新しい技術、企業の誘致や地域内企業の育成を推進し、雇用の創出、地域経済の活性化を図ります。



特色

観光

祭りとイベント

四季折々の豊かな自然を背景に、
いろいろなイベントでまちがひとつになります。



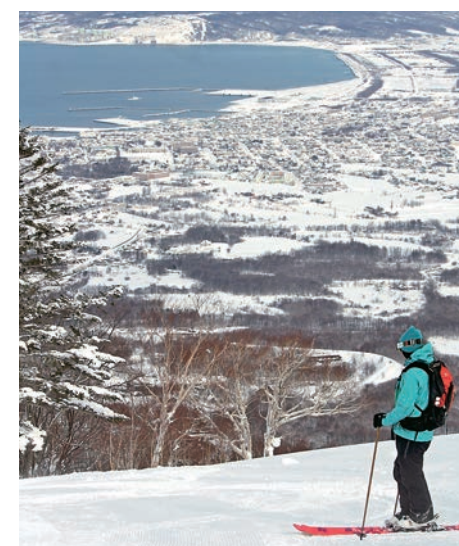
いわない怒涛まつり

岩内の夏を彩るビッグイベント。
岩内ならではの新鮮な海の幸が味わえる屋台
が軒を連ね、ステージでは歌や踊りのパフォー
マンスが繰り広げられるほか、岩内港に打ち上
げられる大輪の花火に人は酔いしれます。



岩内神社例大祭

二百年の歴史を持つ古式ゆかしいお祭りです。
お神楽の音色に導かれ、勇壮な二基の御神輿と雄々しい青年達に受け継がれた町指定無形文化財「赤坂
奴(あかさかやっこ)」の行列が街中を練り歩きます。
大漁旗をなびかせた漁船による海上渡御のほか、二基の御神輿が神社坂を一気に駆け上がる迫力満点の
クライマックスは必見。



ニセコいわない国際スキー場

標高1,086mの岩内岳に位置し、ゲレンデから日本海や
積丹半島が一望できるパノラマビューは格別です。



いわないリゾートパーク オートキャンプ場マリンビュー

日本海と積丹半島が一望できる岩内岳にありキャンプ場
からの絶景がキャンパーを包みます。

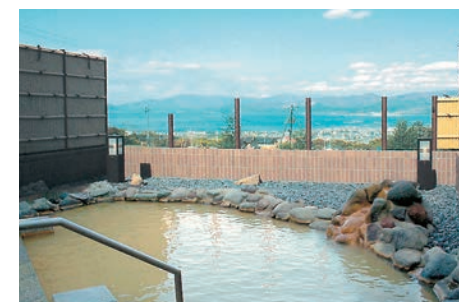


道の駅 いわない

国鉄「岩内駅」跡地に建てられた道の
駅です。旅のおすすめや道路情報の
案内、「たら丸」グッズなど、お土産品
も販売しています。

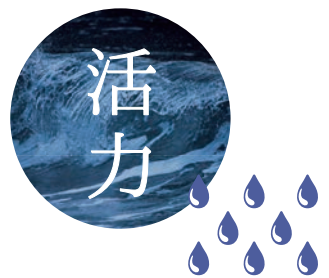
いわない温泉郷

岩内岳のふもとの高原温泉。
湯に浸かりながら、日本海や積丹半島が一望できる、抜
群の見晴らしが人気です。無色透明と茶褐色、2種のお湯
を楽しめます。



★将来像 食・文化・自然・温泉など貴重な地域資源を広く情報発信し、観光客の誘致をしていきます。





あらゆる産業に活力を

平成17年より、海洋深層水の本格取水を開始しました。

深層水の特性を活かし、地場産品の付加価値化、

また収益性の高い商品の開発など、

地域産業の活性化を目指します。



日本海岩内海洋深層水

SEA OF JAPAN IWANAI DEEP SEA WATER

海洋深層水とは

水深200mよりも深いところにある海水(深層の海水)のことをいい、一般的な海水(表層の海水)と比べ、きれいである「清浄性」、一年を通じて冷たい「低温性」、栄養塩が豊富である「富栄養性」の3つの特徴があります。海洋深層水を取水している地域は、全国でもわずか16カ所、北海道内では、岩内町他、羅臼町、八雲町の3カ所のみで、この稀少な海洋深層水がある町として、活用の可能性を模索しています。

💧 原水(塩分約3%) 💧 高ミネラル塩水(塩分約5%) 💧 脱塩水(塩分0%)



各産業での取り組みの様子

漁業の取り組み

海洋深層水の「低温性」「清浄性」を活かし、市場では、漁獲された魚介類に海洋深層水を掛け流すことで、鮮度の良い状態で出荷しています。また、高級魚種の資源増大を図るため、なまこの種苗生産の試験も行っています。

製造業の取り組み

海洋深層水の「低温性」「清浄性」を活かし、特産品である塩数の子等の水産加工品、飲料水、お菓子など広く利用されています。



深層水の目指すもの

農業、酪農、化粧品などの分野では、町外企業において、海洋深層水が積極的に活用されています。こうした分野においても今後、海洋深層水の有効性を地域産業に充分活かせるよう、取り組みを続けていきます。



人々の暮らしに潤いを

産業利用だけでなく、一般の方々にも海洋深層水を暮らしに役立てていただけるよう、一般用の分水場を設けています。併せて海洋深層水の活用方法を知っていただくため、深層水まつりの開催、体験イベント、施設見学などを積極的に実施しています。



★将来像 海洋深層水の地元利活用による農水産物等の付加価値化や利用者の生活を豊かにし、地域の活性化を目指します。





誰もが住みやすさを感じられるように

みんながいる。

みんなという。

ぬくもりやうるおいを

感じられる環境づくりを推進しています。

生活環境



森林公園 北海道から保健保安林の指定を受けた、この公園には「憩いの森」などの8つのエリアのほか、池や散策路が設けられており、季節の移ろいとともに森林浴などを楽しむことができます。
また、展望広場からの眺望は一見の価値があります。



運動公園

スポーツの拠点施設として整備された公園で天然芝サッカー・ラグビー場、陸上競技場、野球場、弓道場、照明完備の多目的広場、テニスコートなどを備えた健康増進の場としての施設となっています。さらに、子どもたちに人気の大型遊具「たら丸」がある遊戯広場は町民憩いの場として、家族連れ、幼稚園や保育所の遠足等、様々な形で利用されています。



全町クリーンナップ運動

みんなでごみを拾う毎年恒例の「全町クリーンナップ運動」には、たくさんの町民が参加しています。



防災訓練の実施

災害時に備えて、原子力防災訓練と一般（地震・津波）防災訓練を実施しています。



いわない循環バス ノットライン

町内の主要な施設（役場・病院・商店街等）と住宅地を結ぶ、まちの便利なちいさなバス。誰でも利用可能で、高齢者をはじめ、様々な方に利用されています。



★将来像

一人ひとりが生き生きとして、緑豊かな自然と快適な生活空間、ともに実感できるまちづくりを進めます。
ごみの減量化と資源化を進め、より良い環境を次世代へ引き継ぎます。





健康で安心して 暮らすために

豊かな心。

健康づくりとその環境が

充実しています。

保健 医療 福祉



学童保育所 放課後帰宅しても保護者が仕事などで不在となる、小学1～6年生の児童が対象です。



保健センター 誰もが健康な毎日を送れるよう、健診・相談・健康づくりなどを行っています。

コミュニティホーム岩内

病状が安定期にあり入院治療を必要としない方に、看護・介護・リハビリテーションを中心とした医療サービス・日常生活サービスを提供する介護老人保健施設です。



岩内協会病院

西後志地域の基幹病院。「地域の人々が望む医療を創造する病院」を目指し、日々医療に取り組んでいます。



ラジオ体操

6月～10月中旬まで、文化センター前広場で開催されます。

チャレンジキッズどんぐり

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業を行っています。

老人福祉センター

高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援するための役割を担っています。

すまいるサポート (岩宇地区相談支援センター)

障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、サービス利用の調整など相談支援事業を行っています。

デイサービスセンター

居宅要介護者等の入浴、食事、日常生活動作の維持・回復を図るための支援を行っています。

岩内ふれ愛の郷(介護老人福祉施設)

日常生活に常時介護が必要で、自宅では介護が受けられない高齢者のための入所施設です。食事や入浴など、日常生活の介護を細やかにケアしています。

七福神恵比寿館 (介護付有料老人ホーム)

入居者の生き方を尊重した生活づくりを大切にしている介護付有料老人ホームです。入居者が安らげ、日常生活を快適に過ごせる施設づくりに取り組んでいます。

介護予防サロン りはる

高齢者を対象にリハビリや体を動かす機会、交流の場を提供しています。



★将来像 地域と共に住民が健康で、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指します。





文化 教育

歴史と文化の香り高きまち

文化的な施設が充実しているのも
まちの魅力のひとつです。



木田金次郎美術館

岩内に生まれ、岩内に育ち、生涯ふるさとの自然を描き続け、孤高に生きた画家・木田金次郎の作品が展示されています。



荒井記念美術館

ピカソの版画作品267点を所蔵しています。



町民プール



町民体育館



パークゴルフ場

岩内町や積丹半島を一望でき、さわやかな高原の風を感じながらプレーができます。国際パークゴルフ協会公認の、変化に富んだコースです。



岩内地方文化センター

約千人を収容する大ホールをはじめ会議室、図書室などを備え芸術・文化活動の拠点施設として利用されています。



外国語指導助手 (ALT) による
英語授業

小中学校に外国人のALTを配置し、
語学力の向上に努めています。



こども絵本館

絵本のほか、子育て情報を提供しています。絵本選びに迷っているとき、自分の探している絵本が見つからないとき、スタッフが適切なアドバイスをします。



町民大学講座

知識と教養を高め健康で明るく生きがいのある生活を送るための講座を開設しています。



郷土館

岩内町の文化を伝える貴重な展示はもちろん、興味深い内容が盛りだくさん。見どころいっぱいです。



★将来像

9年間を見通した教育を進め、社会性・人間性豊かな児童・生徒の育成を目指します。
学校・家庭・地域が連携・協働し、地域全体による学びを展開します。
地域資源を活用した体験活動の充実と、多様なニーズに応じた学習機会を提供していきます。
地域の歴史と伝統が培った芸術・文化を後世へ継承していきます。
誰もが楽しみながら健康を高めるスポーツ活動を推進します。



海洋深層水

歴史

岩内町大火

日本初の アスパラガス栽培

馬車鉄道

岩内港銃撃

木田金次郎 2回目の大火

すけとうだら

島野村と合併 シドニー・アテネ オリンピック

国鉄岩内線廃止

3回目の大火 雷電道路

紋章 制定 タラ丸市場

ニセコいわない国際スキー場 怒涛まつり たら丸誕生

改正 字名



明治末期のにしん漁



岩内支庁設置



北海道初の水力発電



昭和60年頃の岩内駅

1751(宝暦元)年

1859(安政6)年

1869(明治2)年

1877(明治10)年

1879(明治12)年

1890(明治23)年

1897(明治30)年

1900(明治33)年

1902(明治35)年

1905(明治38)年

1906(明治39)年

1907(明治40)年

1912(明治45)年

1912(大正元)年

1921(大正10)年

1922(大正11)年

1924(大正13)年

1935(昭和10)年

1943(昭和18)年

1945(昭和20)年

1949(昭和24)年

岩内開基。(岩内の始まり)

最初の大火が起き、80余戸が焼ける。(当時、全戸数230余戸)

蝦夷地が北海道と改称され、岩内の名称も確定。

町勢発展し、江差・松前の商人が相次いで移住。

岩内古宇郡役所を設置。

2回目の大火が起き、610余戸が焼ける。

郡役所を廃止し、岩内支庁を設置。

岩内町が一級町村となる。初代町長に梅澤六兵衛が就任。

増田庄吉が岩内沖ですけとうだら群生息場所を発見。

岩内-小沢間に馬車鉄道が開通。

岩内水力電気株式会社が、北海道初の水力発電による電気を点灯。

岩内漁港修築工事着工。

にしん刺網船が大時化により、136名の遭難者を出す。

国鉄岩内線が開通。

帰厚院の大仏が完成。

下田喜久三博士により、日本最初のアスパラガス栽培開始。

日本アスパラガス株式会社創立。

岩内町「紋章」制定。

町内の字名改正。

米戦闘機と武装油槽船が雷電沖で戦闘。岩内港が銃撃された。

町制施行50周年記念事業開催。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。

岩内郡漁業協同組合設立。



硫黄山



昭和30年頃のまちなみ



3回目の大火



馬車鉄道



昭和26年頃の岩内港



昭和59年頃の名店街通り



日本のアスパラガス発祥の地記念碑



はまなす国体

1954(昭和29)年

3回目の大火が起き、焼失家屋3,298戸(全町の8割)、死者35名、行方不明者3名、負傷者250名、損害合計98億9百万円。

1955(昭和30)年

島野村と合併し、新しい岩内町が誕生。

1958(昭和33)年

役場庁舎(旧)が完成。

1962(昭和37)年

雷電道路(国道229号)開通。画家・木田金次郎逝去。

1973(昭和48)年

第1回いわない怒涛まつり開催。

1975(昭和50)年

「日本のアスパラガス発祥の地記念碑」除幕式。

上水道が全町へ給水開始。

1978(昭和53)年

北海道初の国民年金保養センターがオープン。

1980(昭和55)年

岩内町の花を「はぎ」、町の木を「ななかまど」に決定。

岩内岳国設スキー場が完成。

1985(昭和60)年

国鉄岩内線が廃止。

町のマスコットキャラクター「たら丸」誕生。

1989(平成元)年

岩内地方文化センターオープン。

はまなす国体開催。(レスリング・山岳競技)

1990(平成2)年

東日本フェリー(岩内～直江津)が就航。

1993(平成5)年

たら丸館がオープンし、道の駅に指定。

プロサッカーチーム清水エスパルスが岩内町で合宿。

1994(平成6)年

木田金次郎美術館がオープン。

1995(平成7)年

新潟県上越市と姉妹都市提携を結ぶ。

国道・道道・町道の流雪溝が完成。

1996(平成8)年

岩内町が過疎地域の指定。

商店街活性化に向け「たら丸カード」スタート。

1997(平成9)年

「タラ丸市場」オープン。

1999(平成11)年

オートキャンプ場「マリンビュー」オープン。

東日本フェリー運航休止。

2000(平成12)年

町制施行100周年記念事業を開催。

青森県深浦町と姉妹都市提携を結ぶ。

岩内町出身の田南部力選手が、レスリングでシドニーオリンピックに出場。

2004(平成16)年

田南部力選手が、アテネオリンピックに出場し銅メダル獲得。

2005(平成17)年

地場産業サポートセンターがオープンし、海洋深層水の供給開始。

2007(平成19)年

介護老人保健施設「コミュニティホーム岩内」開所。

2008(平成20)年

家庭系ごみの有料化開始、リサイクルセンター本格稼働。

消防庁舎、郷土館がリニューアル。

2010(平成22)年

記録的な大雨により全戸断水。

2014(平成26)年

小学校統廃合により岩内中央小学校廃校。

2015(平成27)年

役場庁舎、保健センター完成。



円山循環線開通



町制施行100周年記念事業



岩内地方文化センターオープン



流雪溝完成

有島武郎文学碑





町民から信頼される議会を目指します

岩内町議会は、住民の代表として、町行政の意思を決する機関で、16人の議員で構成されています。
議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。



議場／全国でも先進的な対面式のレイアウトを採用しています。

委員会

幅広い町の事務を専門的・効率的に審査・調査するため、一定の部門ごとに委員会が設置されています。

常任委員会

常設の委員会で、岩内町議会には三つの委員会があり、議員はいずれか一つの委員会に所属します。

総務委員会

総務部・出納課・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会に関すること。

社会文教委員会

民生部及び教育委員会に関すること。

建設産業委員会

企画経済部・建設水道部・サポートセンター・農業委員会に関すること。



委員会室／常任委員会が開催されています。

議会運営委員会

円滑な議会運営を行うため、議会全般について協議し、意見調整を図ったり、議会制度についての調査などを行います。

特別委員会

必要に応じて、特定の問題の審査や調査を行うために設置される委員会です。
現在、原子力発電所問題特別委員会が設置されています。



ふるさと納税制度により岩内町を応援していただける皆さまへ、岩内町が誇る海産物・農産物・乳製品・手づくり品・宿泊券などをお礼の品として心を込めてお贈りします。岩内町出身の方、岩内町を応援したいという方のエールを心からお待ちしております。ふるさと納税を通して岩内町の魅力をたっぷりとご堪能ください。



詳しくは

[岩内町ふるさと納税](#)

[検索](#)

岩内町の町章【昭和10年2月16日制定】



外輪5線は5つの輪、すなわち「イワ」を表し、その内側に「内」の字を図案化し、併せて「岩内」を象徴したもので、5輪は人道五倫を、円は協和を、内の字の直線は積極進取を意味しています。

町の木



「ななかまど」

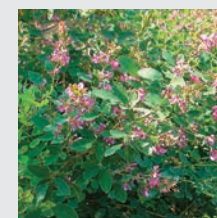
【昭和55年10月29日決定／町制施行80周年記念】

町のマスコットキャラクター



「たら丸とべに子」

町の花



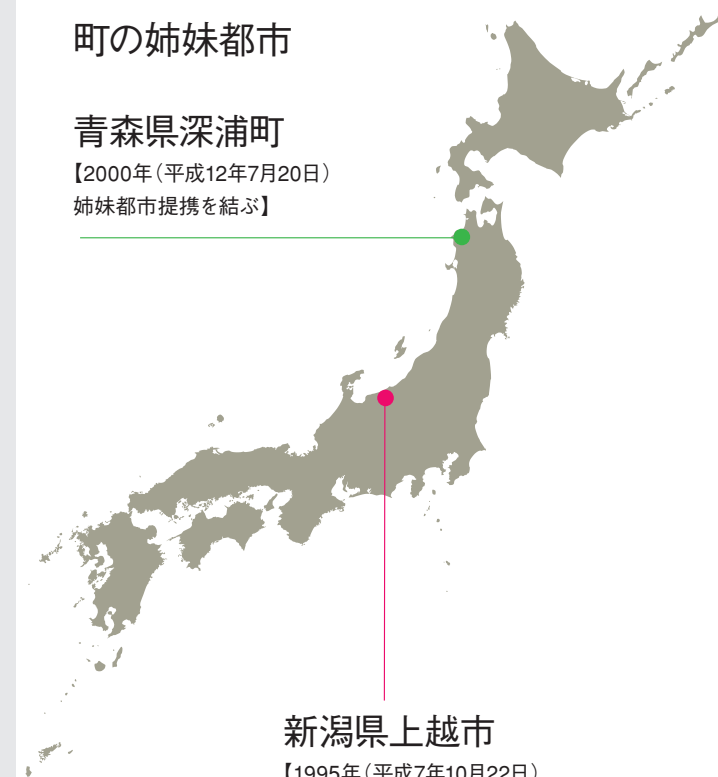
「はぎ」

【昭和55年10月29日決定／町制施行80周年記念】

町の姉妹都市

青森県深浦町

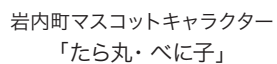
【2000年(平成12年7月20日)
姉妹都市提携を結ぶ】



新潟県上越市

【1995年(平成7年10月22日)
姉妹都市提携を結ぶ】

岩内町町勢要覧
IWANAI



車で

高速バスで

岩内町

稚内

旭川

網走

根室

釧路

小樽

札幌

千歳

苫小牧

函館